



# ハイポネックスニュース

## HYPONeX NEWS 42号

令和3年 6月発行

株式会社ハイポネックスジャパン  
農芸プロダクツチーム

拝啓 向夏の候、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

未だ収束の見えない新型コロナウイルスの影響を受け、展示会などイベント各種が中止となる中、皆様の生産活動の一助となるべく、今号も様々な栽培事例や推奨管理、新商品情報をお届け致します。是非ご一読くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

### バイオスティミュラント資材 事例

#### 【カーネーション】

- 施用方法：定植時マイコジェル100ml/反 土壌灌注、ライゾー100g/反×ボンバルディア1L/反を定期的に土壌灌注処理
- 生産者感想：試験区が今までに見たことのない細根と根張りで、バイオスティミュラント資材3種類の組み合わせによる相乗効果を強く実感。



マイコジェル  
100ml/反

ライゾー  
100g/反

ボンバルディア  
1L/反

無処理



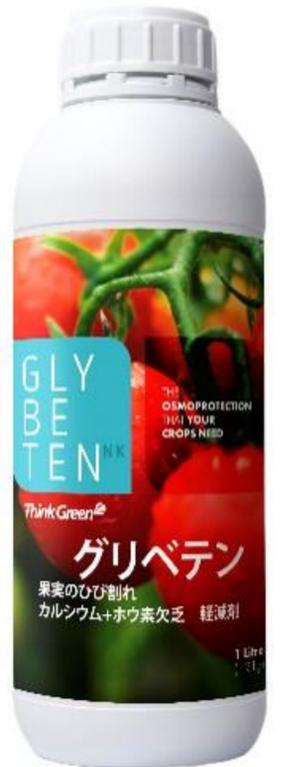
# 高濃度グリシンベタイン液肥「グリベテン 1L」が新発売！

## 製品特徴

- ①天然の**グリシンベタイン**を高濃度に配合！
- ②さらに相乗効果のある**ホウ素・カルシウム**を配合した全く新しい液肥！

## 使用場面

高温・水分過剰による**トマトの裂果防止**  
**レタス・イチゴ・カーネーションのチップバーン**を予防  
 高温による果菜類の**奇形発生**を軽減  
 カルシウム欠乏によるシャインマスカットの**裂果・縮果症**の予防  
 ホウ素欠による柑橘の**裂果**予防 など



## 使用方法

**200-1,000倍に希釈し、葉面散布 2~4回**  
 高温、曇天続きなど、カルシウム・ホウ素欠乏が出る時期  
 生育期はボンバルディア、果実肥大期にグリベテンに切り替えるなど



### グリシンベタイン

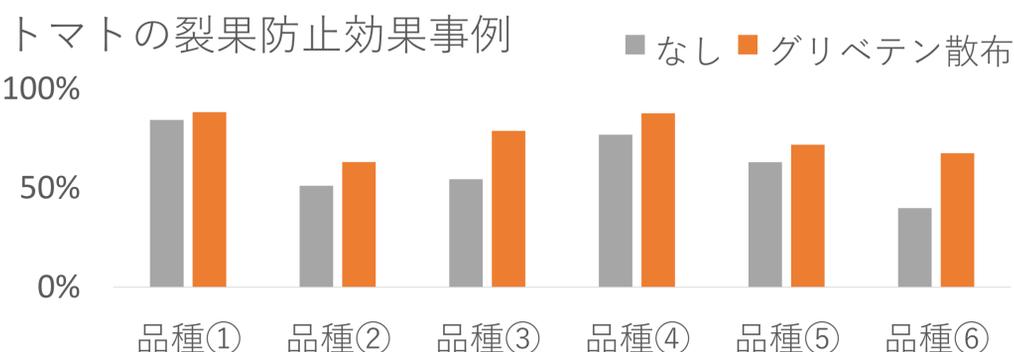
浸透圧調節や光合成の調整に働く  
 低温や高温に強く！  
 大豆：乾燥耐性(Agboma et al., 1997)  
 トマト：塩ストレス耐性(Makela et al., 1998)  
 イチゴ：低温ストレス耐性(Rajashekar et al., 1999)  
 マリーゴールド：高温ストレス耐性(Audchara et al., 2005)

### カルシウム8%+ホウ素1.3%

細胞壁を強化  
 病害菌の侵入を防ぐ



(イメージ)：細胞壁の糖とカルシウム(Ca)・ホウ素(B)が結合し弾力性を高める



**可販率4~28%UP!**

2020年5月定植  
 8月頭から9月中旬までグリベテン週1回300倍

**カルシウム+ホウ素で細胞壁に弾力性を与えて強化！  
 グリシンベタインで浸透圧調節し、ストレスに強く！**

# 微細藻類資材 「パナケアMA Original 1L」 (近日発売予定)



MA Original

Panacea™

**NPK + 天然微細藻類由来**

環境に優しい生物資材

大切な作物の肥培管理に必携

作物が必要とする総ての生理活性要求に対応

液状複合肥料登録品

推奨散布方法			
茎葉処理	果菜葉菜類	希釈倍率	200倍から1000倍
		散布回数	定植後収穫時まで毎週又は隔週で3回から6回散布。または薬剤又は環境ストレス時散布
	果樹柑橘類	希釈倍率	200倍から1000倍
		散布回数	作物の栽培体系に合わせ、萌芽期、結実期、充実期、成熟期にかけて3回から5回散布。または薬剤又は環境ストレス時散布。
土壌処理	全作物	施用量	1 ha当り5 Lを慣行散布水量に混和し散布
		散布回数	1作期を通じて2回から5回散布。茎葉散布との組み合わせも可能。または薬剤又は環境ストレス時散布。

pH 3.6 どのような薬剤とも混用可能

**必須L-アミノ酸20種を含む**

アラニン, アルギン, アスパラギン酸, アスパラギン, システイン, グルタミン酸, グルタミン, グリシン, ヒスチジン, イソロイシン, ロイシン, リジン, メチオニン, フェニルアラニン, プロリン, セリン, トレオニン, トリプトファン, チロシン, バリン

**含まれるその他機能成分**

ペプチド, ビタミン類, 不飽和脂肪酸 (オメガ3, 6など), 有用飽和脂肪酸, ポリフェノール (フラボノイドなど), カロテノイド (βカロテン, キサントフィル, ルテイン, フコサンチン, アスタキサンチンなど), クロロフィル, ミネラル類, 多糖類

**有用な特徴**

- 収量・品質向上及び環境ストレス耐性向上で収益増に貢献
- 散布時期の制限がない
- 作物を選ばない
- 薬害の心配がない
- 薬剤との混用可能
- 散布ノズル詰まりの心配がない
- 散布作業が安全にできる
- 環境にやさしく持続的
- 肥培管理を補完する

\* 農薬との混用は、銅剤や石灰硫黄合材などのアルカリ系資材との混用は避けてください。  
\* また、高温時の使用も薬害の恐れがありますので、ご注意ください。

1L

よく振ってから使用してください。開封後はすべて使用してください。室温で保管し直射日光や極端な条件は避けてください。乳幼児の手の届かないところに保管してください。

● **微細藻類とは？**

海藻資材とは異なる資材で、必須L型アミノ酸が20種類、さらにそれ以上のアミノ酸も含まれます。また、抗酸化物質をバランスよく配合しています。



\* 写真のようなバイオリアクターで、一つの藻に二酸化炭素と光を供給し、光合成、タンパク質合成を行い、藻を増殖させることで、「パナケアMA Original」は作られています。

**【パナケアMA Originalの効果】**

- 環境不良によるストレスを軽減して、活力を向上
- 代謝機能を高め、収穫量を増加
- 土壌に染み入ったときに水分や養分の保持能力を増大
- 糖の合成能力が高まり、味、香り、品質が向上
- 開花、着果、実つきを促進
- 凍結などの寒さに強くなる
- 微細藻類が葉緑素の含有量を増加させ、光合成を促進

## 1. プロミック錠剤 イチゴ用 中粒・小粒 「イチゴポット育苗用置肥」

- イチゴのポット育苗で、高温期、多灌水に適した、穏やかに溶出する錠剤タイプの肥料です。
  - 夏場の育苗時期の使用でも安定した養分補給により、必要な葉数と株の充実を促します。
  - 速効性成分と緩効性成分を配合しており、安定した肥効が持続します。
  - 1錠の重量がほぼ均一のため、鉢ごとの施用分量が一定となり、株の生育が揃います。
  - また、施肥作業が簡単で省略化できます。
- \*施肥時期は、花芽分化期に肥効が少なくなるように逆算して行ってください。



### 【使用方法】

- ①鉢土の表面に置きます。  
\*土の中に埋め込むと、肥料溶出量が高くなる場合がありますので、鉢土の表面に置いてください。
- ②施肥の目安は、ポット受け後、根が十分に活着した頃が適しています。  
\*根が弱っているときの施肥は控えてください。
- ③葉や茎に直接触れないように施肥してください。触れた部分が肥料焼けする可能性があります。
- ④水は施肥後、2～3回は上部より与えます。その後の灌水は4～5回に1回、鉢底から流れる程度に与えると、鉢内の肥料成分が均一になります。

成分	サイズ	登録保証値						分析値	重量	入数
		窒素	リン酸	カリ	マグネシウム	マンガン	ホウ素	カルシウム		
8-8-8	小粒 中粒	8	8	8	1.0	—	—	12.94	10kg	【小粒】 約12,000錠 【中粒】 約6,400錠

### 【施肥量・肥効期間】

鉢サイズ	小粒 約0.8g	中粒 約1.5g
2.5号鉢	1錠	—
3号鉢	—	1錠
3.5鉢	—	1錠
使用例	ランナー取りからのポット苗生産の追肥用	
肥効期間	4～5週間	5～6週間

## II. バイオスティミュラント資材とプロミックイチゴ用の併用

いちご（品種：古都華）のポット受け育苗での使用事例（奈良県奈良市）

写真①（3号ポット）

- ・プロミックイチゴ用 中粒 1錠
- ・ライゾー5,000倍・ボンバルディア500倍 1回灌注処理（1週間後に写真撮影）

\* 暑さによる株の萎れや樹勢に勢いをつけたい場合に、ライゾー5,000倍～10,000倍・ボンバルディア500倍～1,000倍の混合での施用が効果的です。

写真②（3号ポット）

- ・プロミックイチゴ用 中粒 1錠
- ・ライゾー5,000倍を本圃定植までに3回灌注処理（9月中旬定植前に写真撮影）

<生産者様の感想>

- ・猛暑の中でも、プロミックの肥料成分が溶出しすぎず、安定して肥効が続いた。
- ・錠剤なので、施肥もしやすく、作業の省力化ができた。
- ・錠剤付近にも細かい根が集まり、上根もしっかり張っている。
- ・圃場に定植後、活着までが早く、生育の揃いが良い。
- ・ライゾーを施用することで、老化気味の茶色い根からも細かい白い根が多く出た。



### 本圃定植時・親株定植時には、【ジェル状超濃縮菌根化剤】マイコジェル！

- 国際特許を取得する菌根菌「ライゾファガス イレギュラリス」を採用した、ジェル状の超濃縮菌体資材です。
- ジェル状のため希釈時に残渣なく、きれいに溶解、点滴灌水等にも使用可能です。
- ジェルの中に孢子/菌糸/菌根の3形態を維持、素早く菌根圏を形成します。

【使用方法】原液を水でうすめて施用してください。

- 定植前（1,000～10,000倍希釈でどぶづけor灌注）+定植直後（100ml/10a）で灌注
- ボトルを10回程よく振ってから根に届くように施用。単剤での施用推奨。
- 施用前後15日は土壌殺菌剤やリン酸の多い液肥の施用を控えてください。
- 本圃でのトリコデルマ菌資材との併用は避けてください。

高温・低温などの環境ストレス耐性向上・養水分吸収能力の向上  
萎黄病などの病害抵抗性向上・増収・品質向上に効果を発揮！





## 【アジサイ生産におすすめ資材のご紹介】

オスモコートシリーズに**新商品**が登場予定です！

従来のタイプよりも2-3ヵ月と肥効が短いため、花壇苗や鉢物で幅広くご使用できます。

今回はアジサイで使用する場合のタイミングとバイオスティミュラント資材を合わせて紹介いたします。

### ■オスモコートシリーズ新商品

#### 1. オスモコートブルーム 12-7-18+TE 2-3ヵ月

今冬販売予定



##### 【特長】

- ・2-3ヵ月の肥効で安定して溶出し、無駄な流亡が少ない
- ・微量要素配合

##### 【推奨品目】

- ・アジサイ：9月前後の追肥に（1.5～2g/株）
- ・花壇苗：冬～春の置肥に（1～2g/株）

### ■バイオスティミュラント資材（環境ストレス軽減）

#### 2. ライゾー 1kg（根張り促進型肥料）



##### 【特長】

- ・育苗時の二次根、三次根の発根を促進
- ・ポット上げ、鉢上げ時の**ダメージ軽減**と**活着促進**

##### 【使用時期】

挿し木**2週間後**  
ポット上げ**3日後**  
鉢上げ**3日後**



5000倍施用



**2週間後**  
2回目  
5000倍施用

根が動き出すタイミングで使用するのがポイント！

#### 3. ボンバルディア 1L・20L（有機活力液肥）

##### 【特長】

- ・生育期の**ストレス緩和**
- ・アミノ酸効果で葉肉を厚く茎を太くする

##### 【使用時期】

- ・生育全期間を通し月1～2回の葉面散布（1000倍）
- ・土壌灌注も可能（500倍～1000倍）

※農薬と混用可能ですが銅剤、石灰硫黄合剤等、薬害の出やすい物との混用は避けてください。





## ■アジサイ（5寸）の肥培管理例

「オスモコートブルーム」を使用した例になります。  
 近年は、高温や曇天等の環境ストレスを受けやすいことから、  
 バイオスティミュラント資材を併用することで植物が受けるダメージを軽減します。  
 挿し木後、ポット上げ後に「根張り促進型肥料 ライゾー」を使用することで、  
 しっかりと根を張らせ、ストレスを緩和します。

「有機活力液肥 ボンバルディア」は定期的に使用することで植物にアミノ酸を供給し、  
 環境ストレスを緩和します。

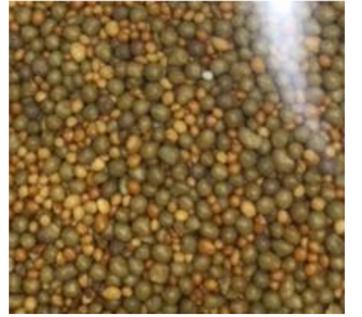
月	作業	置肥	液肥			
			青系	赤系	濃度	バイオスティミュラント
6月	上 中 下 植え付け (3.5寸)	オスモコートエグザクト 16-9-12 3-4ヵ月 1~2g/株	ピータース 15-5-25 または 25-5-20	ピータース 15-30-15	N-50~75ppm	ライゾー 5,000倍 施用
7月	上 中 下 ピンチ (1~2回)				N-75~100ppm	ボンバルディア 1,000倍 (月1~2回葉面散布)
8月	上 中 下	新提案 オスモコートブルーム 12-7-18 2-3ヵ月 1.5~2g/株			植え付け3日後に1回、 2週間後にもう1回施用 ※根が動き出すタイミングが○	アミノ酸供給で 葉肉を厚くし、 茎を太くする
9月	上 中 下					
10月	上 中 下	元肥 ■マグアンプK 中粒 1~2g/L				
11月	上 中 下					
12月	上 中 下 鉢上げ (5寸)	オスモコートエグザクト 16-9-12 3-4ヵ月 2~3g/株	ピータース 15-5-25 または 25-5-20	ピータース 15-30-15	N-50~80ppm	ライゾー 5,000倍 施用
1月	上 中 下				N-80~130ppm	ボンバルディア 1,000倍 (月1~2回葉面散布)
2月	上 中 下	オスモコートエグザクト 16-9-12 3-4ヵ月 2~3g/株				つぼみが見えたら止める
3月	上 中 下					
4月	上 中 下 出荷					
5月	上 中 下					

※この施肥案は一例です。用土、環境により肥料の効き方は変わるため、一度お試しの上ご利用ください。

## 【肥料】

### ①花壇苗専用「オスモコートブルーム12-7-18 2-3ヶ月+微量元素」 (今冬発売予定) \*試験ご希望の方はお問合せください！

- ・2～3ヵ月（21度の時）の短期の肥効期間＝スターター肥料として元肥混合
- ・冬から初春の寒い時期に使用
- ・土の容量の少ない3寸以下のポットやカットパックで使えるよう、粒子サイズは2～3mm



### ②液肥「ピーターズ15-2-20」(Mg+必須微量元素+カルシウム+ビタミン配合) (パンジー・サルビア・ビンカ用)

- ・土壌pH域が低めを好むパンジー、サルビア、ビンカ用のピーターズです。特に鉄、銅、亜鉛などの金属イオンの吸収を良くして発色を良くします。
- ・また弱硬水（水のpHが高い（6.5～8.0）域）の環境下で使用してもpHを低く抑えられます。pHが高いと鉄などの微量元素の欠乏症状でクロロシスが発生します。



## 【バイオスティミュラント資材】

### ③根張り促進型肥料ライゾー

- ・主成分は3種のアミノ酸、根から直接吸収させ、発根初期に必要な植物ホルモンの生成を助けます。
- ・配合されているリン酸+ビタミンで肥料を吸収する細かい二次根などをしっかり伸長させます。
- ・暑くストレスのかかる移植タイミングや、長雨で根がダメージを受けた時の回復に効果的、灌水と同時に3,000～5,000倍で2～3回施用します。

ライゾー無し

ライゾー有り



ライゾーにより、この細かい二次根や三次根が出ることで、養分や水分の吸収が大きく変わります！

### ④有機活力液肥ボンバルディア

- ・夏の高温で硝酸態窒素などの吸収が落ちる時に、100%有機液肥のボンバルディアを利用して、直接L型アミノ酸（グルタミン酸）を植物体内に吸収させます。
- ・多糖類+アミノ酸+フルボ酸の相乗効果で根の動きを高め、葉緑素生成を助け、開花する力や葉の艶をだし、株を作る力を高めます。
- ・腐植物質（フルボ酸23%）により、土壌中の腐植量を増加し、根の活性や土壌微生物の活性を高め、根張りを増進します。
- ・健全に育つとバラの黒星病などのカビにも罹病しづらくなります。

無処理



バラ黒星病減少



ボンバルディア

## 【使用方法】

液肥や葉面散布。2,000～3,000倍で薄めに施用します。栽培期間中、月に1～2回を目安に活性向上を目的にスポット施用しましょう。

\*ピーターズやライゾーと混用も可能。

●**追肥作業の軽減！！**

→安定して溶け、  
追肥回数を軽減

●**雨・高温に強い！！**

→高度なコーティング技術で  
安定した溶出

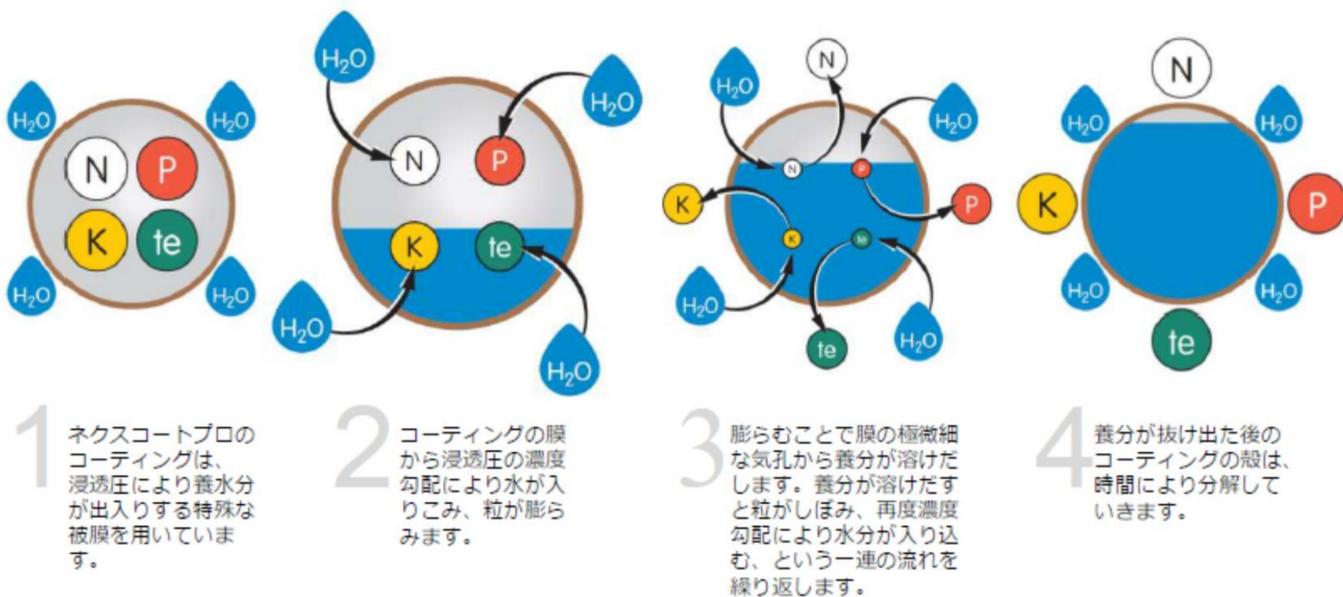
●**植物性油のコーティング**

→土壌分解性の被覆で  
環境問題に配慮可能

16  
、  
10  
、  
14  
の  
溶  
出  
傾  
向



## 浸透圧型の溶出



EUでは、2027年に「生分解」以外のコーティング肥料は販売禁止になります。このようなことから環境に優しい肥料をお試しいただきたく農家様、販売店様、試験機関様を募集しています。

無償サンプル提供など、特別対応承ります。ぜひ皆様と協力して広めたいと思っていますので、ご協力よろしくお願いたします！

→ピンホール型のコーティングに比べ溶出安定

3か月タイプ	6か月タイプ	9か月タイプ	本圃用		
14-7-14 +微量元素	16-5-10 +1Mg+Ca	13-5-15 +1.8Mg+Ca	20-5-7 +3Mg+Ca	17-9-8 +3Mg+Ca	16-10-14
花壇苗・野菜苗	果樹苗 果樹・公園緑化	果樹苗・果樹・ 公園緑化	長期肥効 露地果菜類 夏秋ナスなど	長期肥効 露地野菜 白ネギなど	長期肥効 施設野菜 周年ナスなど
花壇苗: 1.5-2kg/立米	花壇・花木: 50-100g/平米		元肥 夏秋ナス:8-10袋 ニラ:5-7袋	元肥 秋冬白ネギ:3-5袋	元肥 周年ナス:5-6袋 施設ピーマン:5-6袋
被覆肥料のみ 全て同じ成分の粒	被覆+化成 ブレンド				

※窒素施肥量は目安です。堆肥や土壌中成分などを事前に調べた上でご使用ください。

## バイオスティミュラント資材 動画のご案内

話題のバイオスティミュラント資材の商品動画が完成致しました。  
 カタログでは説明しきれない情報から、具体的な使用方法まで分かりやすく解説しています。  
 画像の右側にあるQRコードを読み取ると、YouTube動画をご覧いただけます。是非ご視聴ください！



## 【キャンペーンのご案内】

その他製品につきましても例年同様、お買い得な条件を企画しております！詳細は別紙、『営利生産向け製品：2021年サマーセールキャンペーンのご案内』をご参照ください。

< キャンペーン期間 >

**2021年7月1日（木）～2021年9月30日（木）** 出荷分まで

◆内容に関してより詳しいことは下記までお問合せください◆

株式会社 **ハイポネックスジャパン**

農芸プロダクツチーム

【本社】〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-9 新大阪フロントビル11階

TEL：06-6396-0801 FAX：06-6396-1166

【東京】〒140-0001 東京都品川区北品川3-6-9 北品川369ビル9階

TEL：03-5781-2590 FAX：03-5781-2591